

日本をキリストへ 協力

7

「日本をキリストへ」
伝道団体連絡協議会

〒101 東京都千代田区神田駿河台2-1

OSCCビル日本福音クルセード気付

TEL 03-295-4414

神とともに働く者

副会長

K・マクビティ

最近、世界を「地球村」と表現するようになってきました。韓国、インド、イランで起こっていることを直ちに耳にすることが出来ます。私たちがどのような国に住んでいるかと、テレビや雑誌、音楽や広告を通して物質主義的で世の快楽を求めるメッセージをどこからでもあびせられています。このような状況の中にあつて、私たちのことをどのようにしたら聞かせることが出来るでしょうか。福音を届けるのにマス・メディア、つまり書籍、ラジオ、テレビを用いることが出来ます。これはお金がかかりますし、時に大きな困難に直面いたします。しかし、私たちはこれらの手段を有効に用いる責任

があります。しかしながら、メディアは決して人々を天国に連れていくことは出来ません。ただ神のみがお出来るのです。

さらに、もし私たちが福音を伝えるのにこれらの近代的な手段を有効に用いようとするなら、神が導いてくださる方法で用いなければなりません。そうすることによって人々は神ご自身の声を本当に聞くことが出来、読むことが出来るのです。

このことが可能になるために二つのことが大切です。

- 一、私たちは神のメッセージ、神を喜ばせるメッセージ、神が語ることの出来るメッセージを広めなければなりません。たとえ注意深く提供したとしても、私たち自身のメッセージではだめなのです。
- 二、信仰と服従において私たちは神に近くあらねばなりません。私たちが日々神を信頼するとき、必要な知恵、力を神が与えてくださいます。

このようにして、私たちは本当に「神とともに働く者」となりうるのです。そのとき、聖霊のみが出来る方法で人々の心に聖霊が語りかけてくださるのを見る事ができるでしょう。

さらに主ご自身らしいすばらしい方法で十字架のみもとに、そして御国に多くの人々が導かれるのを見ることでしょう。

「私たちは神とともに働く者」

(Ⅱコリント六・1)

「青少年伝道年」特別企画

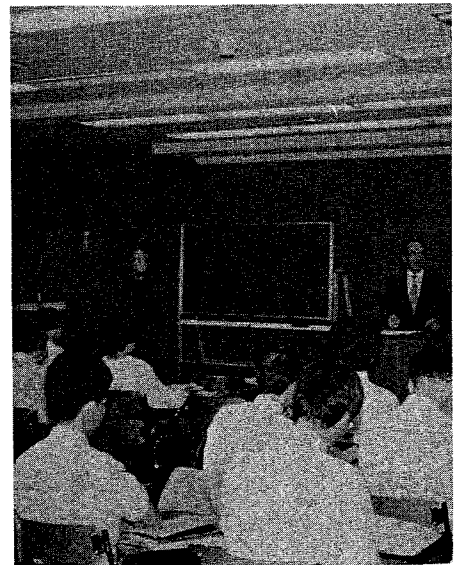
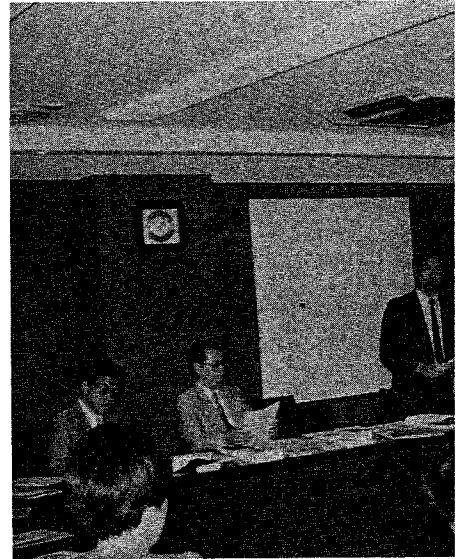
ユース・セレブレーション YOUTH CELEBRATION

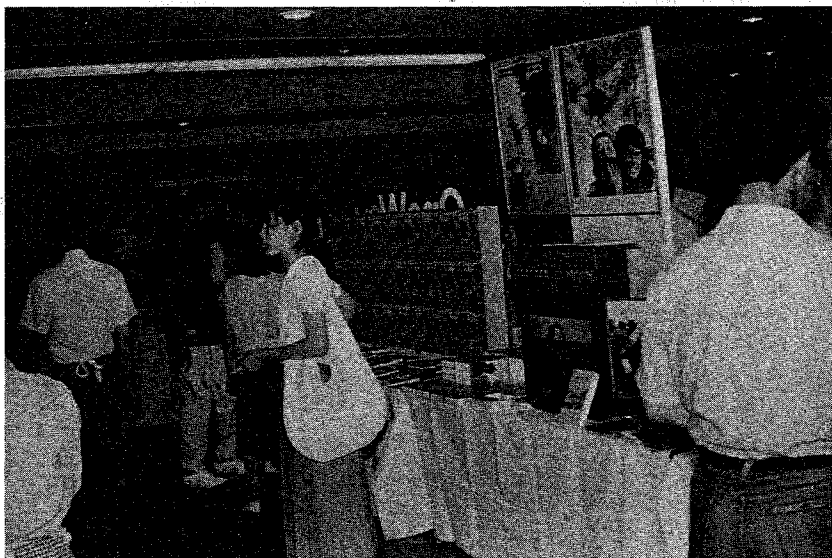
右の写真は、展示場、セミナー会場、コンサート会場です。

展示会場を見てまわられた青年の中には将来自分がどの分野で主に仕えていったらよいかを求めて、各団体の働きを熱心に尋ねている方もいらっしゃいました。将来の奉仕の場を考えている青年たちにはとても良い機会だったと思えました。

コンサートは彼らが友だちに伝道するのに良いチャンスでした。ドンドン友だちをさそってくる姿に頼もしさを覚えました。

さて、来年は伝道団体連絡協議会に加盟しているすべての団体によるフェスティバルが予定されています。各団体におかれましては、今から備え、意欲的に参加してくださることを期待しています。この企画がすべての団体に益となり、主の栄光を現すものとなる事を祈ります。



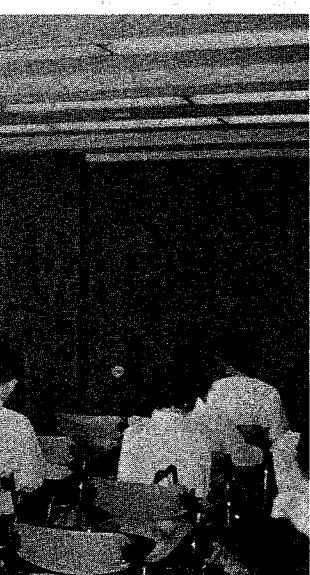


去る七月十八・十九日、OSCCを会場にユース・セブレレーション八七が開かれました。この度の催物は、視聴覚伝道団体と青少年を対象とする伝道団体とが協力し、伝道団体連絡協議会の後援のもとで開催されました。二日間でおよそ八百人の参加者を迎えることが出来ました。

十七団体がその働きを紹介する展示を行い、十四団体が専門とする分野のセミナーを行いました。

セミナーの内容は大変良かったのですが、受講者が少なかったのは残念でした。教会がもっとこのチャンス信徒の訓練のために活用してくだされば幸いだったと思います。

コンサートには多くの方々が参加され、おおいに盛上がりを見ることができました。特にポピュラーの部では、大ホールに人が入りきれず、四百名を越えました。青年の情熱に満ちたパワーを感じました。二二名が信仰の決断をなさり、教会を紹介いたしました。



定期総会報告

日時 一九八七年六月一日(月)
午後三時～六時
会場 O S C C

開会礼拝 ヘブル十一・一一六 (本田会長)

総会 議長 原副会長、書記 市村氏

* 出席団体 29

委任状出席団体 8

欠席団体 13

* 一九八六年度の事業報告と会計報告

* 一九八七年度の事業計画

① 一泊研修懇談会を十一月二四～二五日 箱根小涌園で行う。

② 新年情報交換会を一九八八年二月十二日に行う。

③ 青少年伝道年のプログラムとして「ユース・セレブレーション87」を七月十八～十九日 O S C Cにて行う。

④ 第二回フェスティバルを一九八八年六月 O S C Cにて行う。

⑤ 機関紙「協力」を年三回発行する。

* 一九八七年度の予算審議

* 八三六、五四八円

* 役員改選

* 会長 本田弘慈

副会長 羽鳥 明、K・マクベティ、原・登

常任役員 菊池良市、大竹一行、姫井雅夫

多胡元喜、渡辺佐次郎、市村和夫、P・ホーン、A・ホーランド、浅見鶴蔵、岩崎喜太郎

役員 村上宣道、岸田 馨、堀内 顕

滝元 明、兼松 正、鈴木留蔵

久保英夫

総務 多胡元喜、岸田 馨

書記 市村和夫、姫井雅夫

会計 渡辺佐次郎

庶務 岩崎喜太郎、浅見鶴蔵

監査 辻岡健象、杉本成児

一泊研修懇談会のご案内

* 十一月二四日(火)午後一時 受付

(二五日(水)昼食後解散)

* 箱根小涌園

* 費用 一人 一万二千元

* 参加目標 五十人

今回のテーマは

① 一九九〇年の第三回日本伝道会議を念頭

におきつつ、二一世紀へ向かっての伝道

について

② 一九八八年六月に開催される第二回フェ

スティバルについて

総会に13団体の欠席があったことについて役員会でも心を痛め、より多くの団体のご協力を得たいと祈られました。その意味においてもすべての団体からこの度の研修懇談会にはご出席いただければと願っております。

活動アレコレ

* ミクナム設立十周年

今年も各地でコンサートを精力的に開催

しているミクナムですが、とくに記念事

業として行ったジェリコの歌声は大阪城

の野外ステージに三千五百人を集め、盛

大になされました。

* K G Kも四〇周年を記念して、十一月三日

日 O S C Cで記念感謝会がもたれます。

青少年を対象とする伝道団体が十一月十

六～十七日 H I B Aのキャンプ場で懇

談会を予定しています。協力の輪がドン

ドン広がっているのを見ます。

* 各伝道団体や教会で奉仕している伝道者

の集りである伝道者協力は十月二七～

二九日に総会を開きます。会場は西浦温

泉 南風荘

● 発行日 一九八七年十月一日

● 発行者 本田弘慈 ● 編集 姫井雅夫